

■「町会分科会」「ボランティア会」の募集とアンケートを回覧にて実施

(1) 「超高齢化地域のこれからの町会活動を考える」分科会 ⇒ 町会役員＋一般会員の有志を募集。

①設置理由: 当町会は2ヵ月に1回の開催のため、課題を議論する機会が他町会と比べて少ない。

※他町会は、毎月1回～2回開催。

②課題:A 庄戸会館の今後をどう考えるか?

・「庄戸中跡地利用案」が纏まるまで、後5年くらい掛かる見通し。

・コミハは存続する見込みであるが、「条例型コミハ」になると「上郷東地区全体が対象」になるため、庄戸地区が優先される見込みが薄い。

・「地域避難所」が必要。現在は暫定的に「庄戸小学校の地域交流室(和室10畳程度)」が1丁目と2丁目に割り当てられているが収容力が不足である。

・4丁目は昨年の総会で「耐震工事を実施して利用を再開」と決議した。

課題:B 「上郷東地区連合町会」 ⇒ 3、4、丁目は2～3年前に退会、5丁目は8～9年前に退会。

・栄区連合町会の会議内容の伝達が主。東連町としての独自活動は殆ど無し。横浜市関連諸団体の東地区担当者との共同?活動が主。単位町会との連携活動を提案したが、説明を途中で遮られた。

・毎月1回の会議出席が負担感大。

課題:C 「町会情報ホームページ」の活用方法?

・役員の負担軽減、町会活動のPRの役に立ってるのか?NGであれば、どうすれば役にたつのか?役に立たないのであれば閉鎖した方がよい。

(2)「町会ボランティア会」メンバー募集

①災害時限定/「要援護・支援者」異常通報ボランティア・避難誘導ボランティアの募集

②「高齢者用・買い物送迎カー運転ボランティア」の募集(再来年には、75歳以上221人、40%)

(3)「アンケート調査」

①ホームページ関連 ②「町会ふれあい行事」参加意向 ③「勉強会」参加意向

■「高齢者用・買い物送迎カー(玄関から玄関まで)」2年間試行計画(2019年～2020年)

「港南台コース」: 10時頃自宅前から乗車。港南台滞在は3時間。14時過ぎに自宅前で降車。

対象: 65歳以上。自力で自動車に乗降が可能で、ホームページから利用予約ができる方。

費用: 前提/①2年間(途中解約可能)「カーリース契約」

②利用者: 1年目は週2回、各週7人、年間350人。2年目は週3回、各週10人、年間500人。

試算: 1年目＝406千円(118千円)、2年目＝351千円(63千円)。()内は庄戸会館管理費流用後)

参考: 町会予算上、年度末繰越金は750万円、庄戸会館積立金200万円を省いても550万円残。

☆運営方法

(1) 運転ボランティアを募集⇒「庄戸一丁目町会ボランティア会」設立

運転ボランティア: 75歳以下、運転歴3年以上で安全運転ができる方。ホームページから予約ができる方。

港南台待機3時間用に、喫茶代として500円を支払う。

運行協力の頻度(回数): ボランティアが5人: 1ヵ月に2回程度。10人: 1ヵ月に1回程度

※送迎カーは、「対人・対物」無制限の任意保険と、乗車中の全員の「障害危険補償保険」付き。

(2) ボランティアの協力可能日の登録、及び利用者の乗車希望日の予約等は、全て専用ホームページ上のカレンダー式予約システム(作成済み)から行なう。

協力可能日や乗車予約のキャンセルは、自分のパソコン、スマホから通常のメールで連絡。

(3) 運用の流れ

① 利用希望者の新規登録は毎月1回のボランティア・ミーティング(庄戸コミハ)時に受け付ける。

② 運行前月の1日～20日: ボランティアが翌月の協力可能日を登録カレンダーシステムに入力。

③ 運行前月の25日頃に、ボランティアの協力可能日を反映した翌月(運行当月)の利用予約カレンダーを公開。

④ 利用予約の受け付けは、運行前月の25日から運行当月の25日まで。

⑤ 利用者は予約当日の10時ころ、自宅前から乗車。港南台滞在は3時間。14時過ぎに自宅前で降車する。

(4) 利用者は運営感謝金を支払う: 1回(往復)700円。事前に専用チケットを購入(不要時は払い戻し可)。

乗車時にチケットをボランティアに手渡す。

以上